

(様式1－1)

学校番号	中学5	学校名	茨城県立鹿島高等学校附属中学校
------	-----	-----	-----------------

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規		校訓		生徒の実態	
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・未成年者市喫煙禁止法 ・未成年者飲酒禁止法 ・労働基準法 ・少年法 ・学習指導要領(平成30年7月告示) ・茨城県教育委員会施策 等		自 治 ・ 勤 勉 ・ 快 活		・受検を経て入学してきた生徒であり、総じて意欲が高い。 ・多数の小学校から入学しているため、入学後の人間関係構築が重要となっている。	
保護者の願い		学校の教育目標		地域の実態	
・安全と健康を保証され、6年間を通した継続的・計画的な学習ができること ・高校卒業後、上級学校への進学などの進路希望を実現すること		(1) 道義と秩序を重んじ、自己に責任を持つ。自主・自律生活の実践を図る。 (2) 学問尊重と真理を求める気風の育成を図る。 (3) 自他の敬愛と協力による豊かで快活な生活態度の樹立を図る。		鹿島高校の卒業である保護者や地域の方々も多く、学校教育に対する理解もある。	
各教科・科目		道徳教育重点目標		特別活動	
国語	文字言語、口語言語をバランスよく学ぶことで、他者理解・自己表現能力を育成し、社会で生きるための基礎力を養う。	1 年 ・中学生としての自律的な態度の育成。 ・基本的生活習慣を確立させることを通し、自主自律と責任感、学級での共生意識とを育む。 ・他人の考えや立場を重んじる態度、また、生命を尊重する心をもつ生徒の育成。		・生徒がより良い学校生活を築くために、自主的に問題を見だし、取り上げ、協力して課題解決していくといった自発的、自治的な活動ができるようにする。 ・自然の中での集団宿泊体験、幼児生徒、高齢者や障害のある人々などとの触れ合いや文化や芸術に親しむ体験を通して、よりよい人間関係の形成、自律的態度、心身の健康、協力、責任、公德心、勤労、社会奉仕などに関わる道徳性の育成を図る。	
社会	我が国および世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、人間としての在り方生き方についての自覚を育てる。	2 年 ・基本的生活習慣が確立した、当たり前のことを当たり前に行える生徒の育成。 ・互いを認め合い、磨き合い、高め合える生徒の育成。 ・集団生活の中で規律を守ろうとし、協調性をもって集団に係わる態度と心情の育成。		総合的な学習の時間	
数学	数学的活動を通して論理的に考察する力を育成するとともに、社会や集団生活で直面した課題を自律的・協働的に解決できる創造性の基礎を養う。	3 年 ・自己を見つめ、強い意志をもって自分の進むべき道を切り拓こうとする態度の育成。 ・人間尊重の精神を基盤に他者に対して思いやりと寛容の心をもって接することのできる生徒の育成。 ・心の弱さを克服して、自分に恥じない生き方をしようとする態度の育成。		・自ら課題を見付け、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ・自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする心情を育てる。 ・体験活動と道徳の時間との関連を図った指導の充実に努める。 ・「地域」「キャリア」「国際」の「KASHIMAメソッド」を意識した学が姿勢を育む。 ・道徳的な実践活動の充実に努める。	
理科	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を育成する。自然の事柄・現象に対し関心をもち、科学的に探究する能力と態度の育成を図る。	道徳の時間の指導方針		生徒指導	
音楽	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養う。	・本音で語り合い、自己の生き方についての考えや自覚を深められるような授業の工夫に努める。 ・生徒が自己を見つめ、個々の道徳的行為や日常生活を見直すとともに自ら時と場に応じた望ましい道徳的行為がとれるように、内面的自覚を促す。 ・生徒の発達の段階や特性等を考慮した指導方法の工夫に努める。		・複数担任制によるきめ細やかな一人ひとりの生徒理解に努め、心に寄り添った生徒指導を充実させる。 ・構成的グループエンカウンターの導入による人間関係づくりを醸成する。 ・規律を守る意義を理解し、社会の一員であることの自覚と責任感を持たせる。	
美術	美術の諸活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養う。	学級・学校の環境の充実・整備		家庭・地域社会などとの連携	
保健体育	公正、協力、責任、参画に対する態度を育成し、模範意識を養う。健康・安全を確保し、生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	・中高6年間をつなぐ先取り学習、また習熟度別学習によるきめ細かな指導を行う。 ・授業時間数増による、ゆとりのある学習を行うことで、学習の定着を図る。 ・学習用の端末を効果的に活用することで、生徒の関心・意欲を高め、より分かりやすい授業を実施する。 ・電子黒板を活用することで、生徒の理解度を高められるような授業を行う。 ・人工芝多目的グラウンドや体育館などの共用施設を用いた中高合同の学校行事を通じて、健やかな体と豊かな心を育成する。		・学校ホームページをはじめ、学校からの配信メールや、オンラインアプリを活用し、保護者が学校の様子を知ることができるように努める。 ・地域の人材活用により、生徒本人の希望に合わせた地域密着型職場体験学習を実施する。 ・地域の研究機関における特別理科授業や、科学施設などへの校外学習を実施する。	
技術家庭	望ましい生活習慣を身に付け、勤労の尊さや意義を理解させる。社会生活の在り方について体験的に学び、実践できる態度を育てる。	特色ある教育活動や体験活動			
外国語	外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする実行力を身につけ、国際的視野に立って、進展するグローバル社会を主導していく能力を養う。	・中学校段階で大学見学を行うなど、高等学校と連携したキャリア教育の推進を図る。 ・英語の授業時間数の増加と、ALTを含む複数担当者による授業や、オンライン英会話を実施し、英語4技能(話す、聞く、読む、書く)の向上を図る。 ・他の県立併設型中学校との交流や合同行事を行う。			